



2010

散水究明報告書

(再発再現時間差特定手法)



トータル防水サービス会社
HOUSE CONCIERGE & CARE

ORIGINAL ・ *HOUSECARELIST*
SUPPORTING ・ *EXPERT*
PLANNING ・ *CORDINATE*

DOLPHIN COAT



様 作業実施日

ご依頼頂きました強制散水テストを予定通り実施いたしましたので、ご報告申し上げます。

○ご依頼内容： 雨漏れの起因となる雨水の入水ポイントを強制散水コントロール作業により、時間差で特定する手法を用いて欠陥部を探る
また作業実施の作業証明の記録収集を兼ねる。

○実施場所： 所在地： 東京都荒川区 ー2

○確認日(訪問)： 2010年11月13日 11:00~16:00(所要時間約450分)
(跡片付け含む)

○立会い人： 所有者(奥様) (M)

- ◎テスト手順：
- ①オリエンテーション
 - ②散水(計画散水)作業
 - ③散水結果の確認作業
 - ④修理概要の解説作業

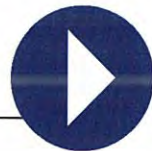
【散水計画範囲】

外壁(正面、側面)、1階、2階、3階、パラペット部
RF(階段室外壁、床防水材+ドレン周囲、笠木など)



① オリエンテーション

散水テスト・プログラム



主な作業メニュー

11:00~11:30
(所要:30分)

- 立ち会い者の確認
- 作業内容のご案内と確認
- 支援作業の解説

【実施目的】オリエンテーションは、作業実施の証明と立会人との結果情報の共有化及び結果情報の精度を高める効果があり、事実証明の精度が確保できます。

散水位置

写真

説明・備考



作業前準備

機材
セッティング前

作業前確認
オリエンテーション

②散水(計画散水)作業

散水テスト・プログラム









2-1

主な作業メニュー

11:30~15:00
(所要:210分)

- ・機材セッティング
- ・散水(1階~上階へ)
- ・再発確認作業

【実施目的】散水作業は、漏水計画手順より、漏水発生ポイントに再発する入水箇所を探り、時間差コントロールから、漏水経路そして漏水メカニズムを明らかにします。
また再発時には、立ち会い人同士でその事実を確認することで、漏水の有無を確定します。

散水位置	写真	作業名・備考
1階~		強制散水作業 【範囲】
2階		強制散水作業 【範囲】
(外壁) (サッシ周り) (器具周り)		強制散水作業 【範囲】
側面		強制散水作業 【範囲】
正面		強制散水作業 【範囲】
北面		強制散水作業 【範囲】

②散水(計画散水)作業



主な作業メニュー

11:30~15:00
(所要:210分)

- ・機材セッティング
- ・散水(1階~上階へ)
- ・再発確認作業

【実施目的】散水作業は、漏水計画手順より、漏水発生ポイントに再発する入水箇所を探り、時間差コントロールから、漏水経路そして漏水メカニズムを明らかにします。また再発時には、立ち会い人同士でその事実を確認することで、漏水の有無を確定します。

散水位置	写 真	作業名・備考
3階~ R階 (外壁) (サッシ周り) (器具周り)		強制散水作業 【範囲】
		強制散水作業 【範囲】
		強制散水作業 【範囲】
		強制散水作業 【範囲】
		強制散水作業 【範囲】

②散水(計画散水)作業

散水テスト・プログラム



2-3

主な作業メニュー

11:30~15:00
(所要:210分)

- ・機材セッティング
- ・散水(1階~上階へ)
- ・再発確認作業

【実施目的】散水作業は、漏水計画手順より、漏水発生ポイントに再発する入水箇所を探り、時間差コントロールから、漏水経路そして漏水メカニズムを明らかにします。また再発時には、立ち会い人同士でその事実を確認することで、漏水の有無を確定します。

散水位置

写真

作業名・備考



(排水不良)
樋の配水管が
既に詰まっていた。

水槽圧(静深水圧)を
防水材にテスト中である

層圧:時間:約60分
実施しました。

③散水結果の確認作業

散水テスト・プログラム



2-1

主な作業メニュー

15:00～15:15
(所要:15分)

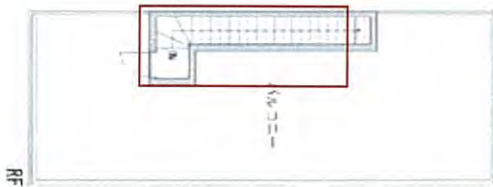
- ・漏水入水箇所(欠陥部分)の確認作業
- ・漏水メカニズムの説明と確認(欠陥要因の解説)
- ・二次災害の評価・判定説明

【実施目的】一連作業の結果を立会者同士、確認し合いその判定結果を明確にする情報を正確に照合することが重要である。発生結果から二次災害への要因を技術的な見地から整理します。

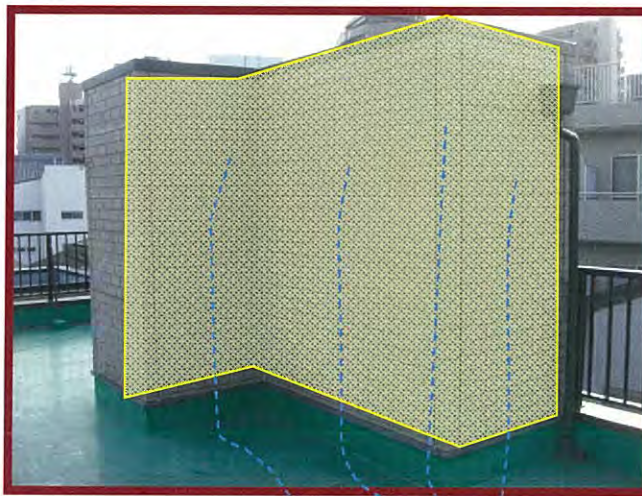
散水位置

写 真及び概要図

解説・備考



究明結果



詳細

《欠陥ポイント》

- ・漏水部分
- ・対象建物【階段室 外壁】
- ・位置【サイディングボードのヒビ割れ】

- 入水箇所:複数(複合型入水)
- 欠陥要因:耐久寿命×建物揺れ外圧複合
- シーリング材の硬化(寿命時期超過)

③散水結果の確認作業



主な作業メニュー

15:00~15:15
(所要:15分)

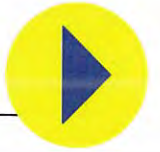
- ・漏水入水箇所(欠陥部分)の確認作業
- ・漏水メカニズムの説明と確認(欠陥要因の解説)
- ・二次災害の評価・判定説明

【実施目的】一連作業の結果を立会者同士、確認し合いその判定結果を明確にする情報を正確に照合することが重要である。発生結果から二次災害への要因を技術的な見地から整理します。

散水位置	散水前	散水後 (再発再現漏水)
1階	箇所:窓サッシ 枠上部	
2階	箇所:押入れ内部 上部	
		<div data-bbox="975 1648 1509 1906" style="border: 1px solid blue; padding: 10px;"> <p>漏水は、壁内部を貫通し、表面仕上げ材には、漏湿は見られなかったしかしこのシミ部の内部を経路としているのは確かである</p> </div>
3階	箇所:洋室天井部 コーナー	

④修理概要の解説作業

散水テスト・プログラム



主な作業メニュー

15:30~16:00
(所要:30分)

- ・欠陥要因からの対策案説明
- ・修理に伴う課題と質疑応答確認作業
- ・今後のスケジュール確認

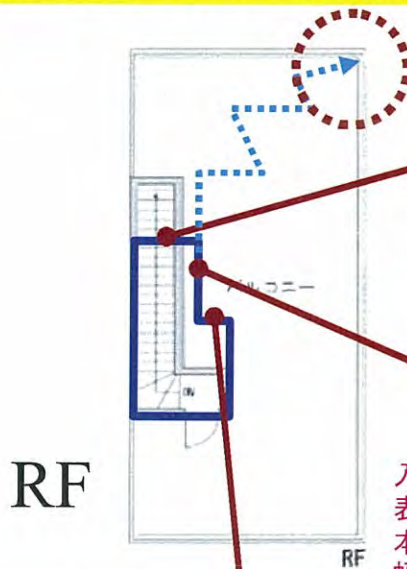
【実施目的】オリエンテーションは、作業実施の証明と立会人との結果情報の共有化及び結果情報の精度を高める効果があり、事実証明の精度が確保できます。

散水位置

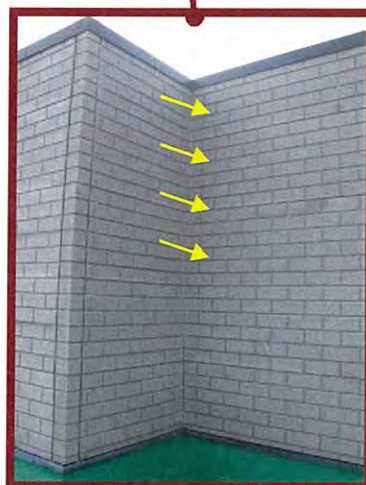
写 真及び図解

説明・備考

排水ドレンの低い位置から
下階へ壁内を経路により
漏水発生ポイントへ導水する



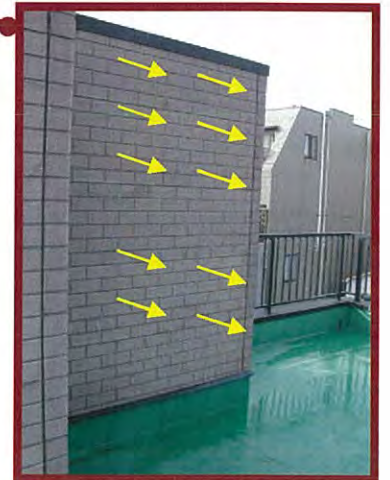
入水ポイント1
表面症状:クラック
幅:3mm
長さ:1000mm



入水ポイント1
表面症状:クラック
幅:3mm
長さ:500mm



入水ポイント1
表面症状:クラック
本数:複数あり
幅:3mm
長さ:500mm



漏水部分

【階段室 外壁】

【サイディングボードのヒビ割れ】

■入水箇所:複数

■ヒビ要因:耐久寿命×建物揺れ外圧

■シーリング材の硬化(寿命時期超過)



one step-up life messenger

IMAGE

Dolphing

Office
158-0082
東京都世田谷区等々力3-16-12-102
TEL 03-6317-3680
FAX 03-3705-8688

作成者 /担当 櫻井(さくらい)

フリーダイヤル 0120-688-008

